

電話相談員養成 基礎研修 補講

開催レポート

第2回基礎研修会補講

本研修会は、9月6日(月)に、京都の無学寺様を会場に開催されました。参加された京都曹青会員の2名は、共に翌日からの第2回発展研修会に参加する予定だったことからでしょうか、ロールプレイへの取り組みもさることながら、テキストへの書き込みも多く、研修への積極姿勢が目立ちました。

講師は、秋吉基幹事業委員長と森田副委員長が務めました。講義の途中やロールプレイの合間に、質疑応答や意見交換を頻繁に行なうことができたため、最後のコマに用意してあったふりかえりの時間は割愛いたしました。

13時から19時頃まで、ほとんど休憩無しの研修会でしたが、発展研修につなげるには十分だったのではないかと思います。



第1回基礎研修会補講

本研修会は、8月30日(月)から31日(火)にかけて、曹洞宗檀信徒会館5階微笑庵に於いて開催されました。受講者は3名で、基幹事業委員3名が講師役を務めました。

標準的な基礎研修プログラムには、外部講師が担当する時間枠がありますが、今回は基幹事業委員が代わりに講義をしました。

少人数での研修会でしたが、受講者と基幹事業委員の距離が近く、対話的で濃密な研修会となったように思います。

屋内での研修会であったとはいえ、酷暑の中、参加者諸師の疲労も大きかったことと思います。お疲れ様でした。



参加者の声

この研修のおかげで、電話だけでなく、あらゆる相談に対して、寛容になったような気がします。

対応が難しい事例の実習で、相づちや言葉の一言で相談者の態度、話し方がここまで変わるとは思っていなかった。

人を助けるということは大事です。しかし、甘えのあることを言われたら、どうしても、「ここは違う」と言ってしまうようになります。

「傾聴」実践にあたり電話相談ではなく地域の施設を訪問したり、独居されている高齢の方を訪問したり、という活動もありうるのかなと考えています。

相談に接する際の心の持ち方は勿論ですが、自分自身のメンタルケアについても気づかされることもあり、日常を送る上でのヒントになったようにも思っています。

「できない」「わからない」も答えの一つというのは安心する。

布教師や梅花などといったもののような資格になればと思います。

千葉県宗務所がされているように、各宗務所で電話相談を設置するのが望ましいと思う。

